

どうして生協が「平和」の活動をするの？

日本で生活をしている中で、なにげなく過ぎていく日々や、家族が過ごしているそれぞれの環境など、これはすべて「平和であること」の上に成り立っています。その日々の中で、生協は「平和」が

続くようにさまざまな活動をしています。なぜ生協は「平和」に取り組むのか、どのように取り組んでいるのか、をご紹介します。

戦争で、多くの生協が活動停止や解散

先の戦争では、生協の組合員のくらしや生協も大きな被害を受け、組合員の住居や生協の施設の被災、組合員の分散、徴兵による生協の職員不足などで、多くの生協は活動停止や解散に追い込まれました。戦後、生協は復興に際して「より良きくらしの大前提は平和であってこそ」を確認して再スタートしました。



よどがわ生協も1977年の創立以来平和な社会をめざしています

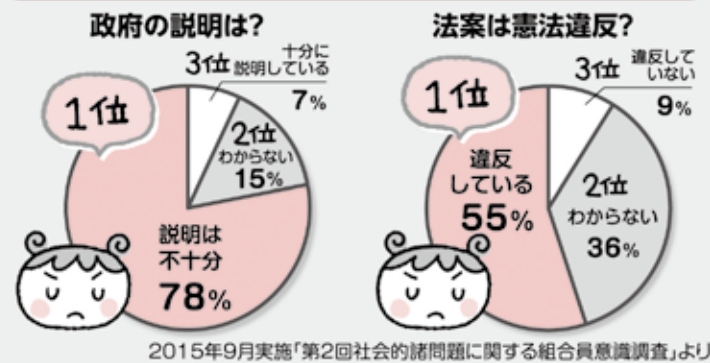
2007年5月、よどがわ生協の通常総代会では、平和であってこそ食やくらしの豊かさが実現されることから、「平和憲法を守る運動をすすめること」を「めざすこと」として、確認しました。現在も、この「めざすこと」に沿って、くらしや平和を脅かす動きに対して、さまざまな取り組みを進めています。



組合員からも平和への不安の声が

これまでよどがわ生協は、組合員のみならずといっしょに、「戦争の悲惨さ」と「平和の尊さ」を学び、平和やくらしを脅かす動きに対しては、反対の声をあげました。「集団的自衛権」や「平和安全保障関連法」に対しては、昨年秋に実施した「社会的諸問題組合員意識調査」でも、過半数の組合員さんから、政府のすすめ方や法律に対する懸念や不安が寄せられています。

国会で審議されていた安全保障法案について



みんなで平和を守りたい… 自分たちに何ができるのか…

聞いて(読んで)知識を得る・参加して体感する

理事会では、米軍基地移設問題や沖縄の現状と歴史を学ぶため、4月2～4日に沖縄県の視察を行いました。くわしくは8月1日発行の機関紙よどがわ8月号1面にて報告します。



専門の先生をお招きしての勉強会や、ヒロシマピースツアーやキャンドルナイトなどの平和について考えるイベントを企画し、組合員さんへ参加を呼びかけています。



組合員活動専門グループ「平和グループ」の組合員さんも活動しています!

69行動

ピースツアー

国民平和大行進

署名で声をあげる・届ける

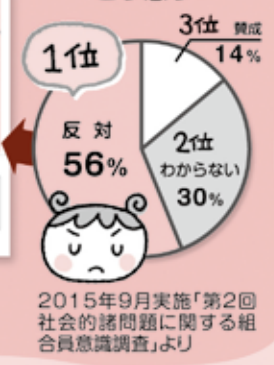
より多くの人びとの願いや意思を示すため、大切にしたい想いを集めることが大きな力になります。

国会で審議されていた安全保障法案について



6月に理事会より組合員のみならずへ平和安全保障関連法の廃止を求める「200万人統一署名」へのご協力をお願いしました。

法案についてどう思う?



今後ともご協力を
よろしくお願いいたします。



平和募金活動も
実施中!

平和の募金を注文書のカンパ欄や6ヶタ注文にて「001418」で受け付けています。集まった募金は、上記の平和企画の活動費などに使用しています。



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん
第1支所



委託配達:トランコム
東淀川区担当
奥 智行 (おくともゆき)

新しい出会いに胸を躍らせながら、組合員さんの生活のお役立ちができるようがんばります!



よどがわ市民生活協は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。